

今年はこれで決まり! 札幌大会でああなたの明日が変わります!

日本デイケア学会第24回年次大会 大会長
医療法人社団ほっとステーション
大通公園メンタルクリニック院長

長谷川 直実

来る9月14日(土曜)、15日(日曜)に日本デイケア学会 第24回年次大会札幌大会が、北海道札幌市の北星学園大学にて開催されます。前日には、フットサル大会及び施設見学会も開催されます。

デイケアは、当事者を中心に看護師、精神保健福祉士、心理士、医師、ピアサポーターなどのプロ多職種集団が協働で回復を支援する場です。しかし、このことは広く十分に認められているとは言えません。デイケアは、地域精神医療の中で柔軟に変化し、様々な技法が試される場になりうるのに、「自分が働いているデイケアは病棟や外来といった精神医療の主流から離れている」などと自信を失っているような人はいませんか。

日々、迷いながら頑張っている皆さん、札幌大会に来て、自分の実践や困りごとを大いに語ってください。

そして、札幌大会には自分の技量を磨けるヒントがたくさん詰まっています。「現場で使えるシリーズ」として動機付け面接、メリデン版訪問家族支援法、外来森田療法、解決志向アプローチ、条件反射制御法、SST、集団精神療法といった技法が学べる企画が用意されています。

和田行男先生の市民公開講座「認知症と注文をまちがえる料理店」、糸川昌成先生の「分子生物学者から見た病のイニシエーション」など興味深い講演もあります。

また、今回初めての試みとして、通常の一般演題、ポスターセッションの他に「プログラム実演発表」の時間を

設けました。他のデイケアのプログラムを体験してみませんか。

会場は地下鉄東西線の大谷地駅近くですが、昼休み中に行けるレストランは多くありません。昨今の事情により、企業協賛によるランチオンセミナーは以前に比べてかなり少なくなっています。しかし、会場には、就労支援事業所で作っているパンや弁当の販売、お弁当の売り上げがセミナーを担当する団体の活動資金になる「応援ランチオン」を用意しています。

毎年年次大会と同時開催される日本デイケア学会研修委員会主催の研修会は、今年は、2日目の閉会式の後、学会会場内で開催されます。例年通り、精神科デイケア及び高齢者のふたつの研修が開かれますが、今年は、事例検討会を行います。どうぞ奮ってご参加ください。

札幌大会での出会いは、きっと皆さんの明日からの活動に変化を与えてくれるはずです。

秋の北海道で、皆さんをお待ちしています。

日本デイケア学会 第24回年次大会札幌大会のご案内

大会テーマ

技あり!デイケア!
～現場で使える技術と私たちの矜持～

大会長

長谷川 直実
(医療法人社団ほっとステーション大通公園メンタルクリニック院長)

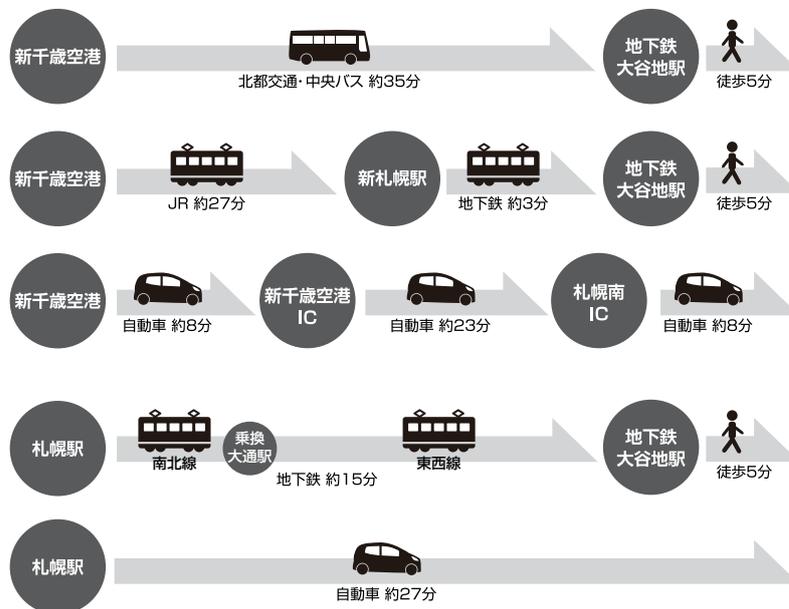
会期

2019年 9月 14日 (土) ～ 9月 15日 (日)

会場

北星学園大学 北海道札幌市厚別区大谷地西2-3-1

アクセス：<https://www.hokusei.ac.jp/access/>



会場
北星学園大学 C館
北海道札幌市厚別区大谷地西2-3-3-1

ホームページ

<http://daycare24sapporo.jp/>

参加登録 当日参加登録 会員 8,000円、非会員・一般 9,000円
学生・当事者 3,000円

懇親会 2019年9月14日(土) 参加費6,000円

連絡先 【大会事務局】 医療法人社団ほっとステーション大通公園メンタルクリニック
〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西5丁目 昭和ビル2階
TEL:011-233-5255 FAX:011-233-5256
E-mail: daycare24sapporo@yahoo.co.jp

プログラム

市民公開講座 「認知症と注文をまちがえる料理店」

演者：和田 行男（一般社団法人「注文をまちがえる料理店」 代表理事）

大会長講演「支援者の柔軟性」

演者：長谷川 直実（医療法人社団ほっとステーション 大通公園メンタルクリニック 院長）

特別講演Ⅰ「精神科デイケアにおけるケースマネジメント」

演者：藤井 千代（国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
社会復帰研究部 部長）

特別講演Ⅱ「分子生物学者が見た病のイニシエーション」

演者：糸川 昌成（公益財団法人 東京都医学総合研究所 病院等連携研究センター
センター長・副所長）

教育講演Ⅰ「地域包括ケアにおけるデイケアの役割」

演者：原 敬造（医療法人社団 原クリニック 院長）

教育講演Ⅱ「ピアスタッフが精神科デイケアで勤務する意義」

演者：肥田 裕久（医療法人社団 宙麦会 ひだクリニック 院長）

シンポジウムⅠ「障がい者スポーツ」

シンポジスト：井上 誠士郎（北海道精神障害者スポーツサポーターズクラブ 代表）

シンポジスト：長谷川 未央（医療法人社団健心会 桑園病院 精神保健福祉士）

シンポジスト：田頭 理（知事公館前法律事務所 弁護士）

シンポジスト：多田 周平（医療法人社団ほっとステーション 大通公園メンタルクリニック
臨床心理士）

シンポジウムⅡ「大規模デイケア調査から見える今後のデイケア」

シンポジスト：大木 洋子（一般社団法人東京リワーク研究所 主任研究員）

シンポジスト：原 敬造（日本デイケア学会 理事長）

シンポジスト：松原 良次（日本精神科病院協会 医療政策委員会 委員）

司 会：五十嵐 良雄（一般社団法人東京リワーク研究所 所長）

シンポジウムⅢ「デイケアと地域性」

シンポジスト：朴 相運（大同病院 病院長）

シンポジスト：三ヶ木 聡子（医療法人社団草思会 クボタクリニック 看護師）

シンポジスト：藤澤 友斗（JA北海道厚生連 倶知安厚生病院 作業療法士）

プログラム

シンポジウムⅣ「認知症の人が求めるデイケア/デイサービスとは？」

シンポジスト:宮本 礼子

(医療法人風のすずらん会江別すずらん病院 認知症疾患医療センター センター長)

シンポジスト:佐藤 和彦(恵庭市保健福祉部障がい福祉課)

シンポジスト:武田 純子(有限会社ライフアート グループホーム福寿荘 総合施設長)

シンポジウムⅤ「多様な就労支援の在り方 ～だれでもできる就労支援～」

シンポジスト:金塚 たかし

(特定非営利活動法人 大阪精神障害者就労支援ネットワーク JSN統括施設長)

シンポジスト:三家 英明(医療法人 三家クリニック 院長)

シンポジスト:笠井 利佳

(医療法人社団ほっとステーション 大通公園メンタルクリニック 精神保健福祉士)

シンポジスト:就労されている当事者の方

ワークショップ「デイケアスタッフあるある ～普段の業務での色々をちょっと荷下ろし～」

講師:土田 正一郎(JA北海道厚生連 倶知安厚生病院 精神神経科 診療部長)

講師:山田 秀世(医療法人社団ほっとステーション 大通公園メンタルクリニック 理事長)

ワークショップ「デイケア“そもそも”論 ～「てつがくカフェ」で考えてみる～」

講師:西村 高宏(福井大学 医学部 医学教育・倫理学 准教授)

講師:近田 真美子(福井医療大学 保健医療学部 看護 准教授)

ワークショップ「支援する人が元気になるための実践講座」

講師:土田 正一郎(JA北海道厚生連 倶知安厚生病院 精神神経科 診療部長)

ワークショップ「デイケアとリハビリ」

講師:稲垣 麻里子(一般社団法人北海道ピアサポート協会 多機能型事業所PEER+design)

大会企画ワークショップ「みんなで広げよう精神科デイケアネットワーク Part2」

～全国のデイケア連絡組織の情報交換・交流会～

講師:古屋 龍太(日本社会事業大学)

自主ワークショップ「メリデン版訪問家族支援の紹介」

講師:酒井 一浩(医療法人社団博仁会 おおえメンタルクリニックゆう 作業療法士)

講師:吉野 賀寿美(医療法人社団 五稜会病院 看護師)

一般演題発表(口演、ポスター)、プログラム実演発表、リワークスタッフ交流会

事務職の集い、ランチョンセミナー、応援ランチョン、企業展示、書籍販売



日本ディケア学会 第24回年次大会札幌大会

技あり！ ディケア！

～現場で使える技術と私たちの矜持～



参加された皆さんが、明日からの自分の仕事が変わるような学びや気づきを北海道で体験していただき、技法やアイデアをそれぞれの現場に持ち帰って活用できる大会を目指しています
そのために、いくつかのワークショップを企画しました

その名も、『現場で使えるシリーズ』

北海道にゆかりのある講師陣によるワークショップ
このワークショップを通して体験したものを、ぜひ、みなさんの「現場」で使ってください

現場で使える **SST** (ルーテル学院大学 前田ケイ)

現場で使える **動機づけ面接法** (札幌刑務所 中村英司)

現場で使える **集団精神療法** (北星学園大学 田辺等)

現場で使える **解決志向アプローチ** (こころのリカバリー総合支援センター 阿部幸弘)

現場で使える **森田療法** (大通公園メンタルクリニック 山田秀世)

現場で使える **条件反射制御法～物質使用障害編～** (下総精神医療センター 平井愼二、他)

現場で使える **性的逸脱と盗癖への取り組み** (下総精神医療センター 平井愼二、他)

現場で使える **金銭問題、部屋探し** (弁護士、不動産会社社員)

現場で使えるシリーズのいくつかは、定員を設けております。事前参加登録で定員が埋まった場合は、当日参加はできない可能性があります。ご了承ください。



日本デイケア学会札幌大会 特別企画 フットサル交流会

主管・共催：北海道精神障害者スポーツサポーターズクラブ



日 時

2019年9月13日(金)18時～21時(日本デイケア学会札幌大会は9月14日15日)
当日は現地集合となります。
上靴やユニホームやジャージなどをご持参ください。

目 的

- 北海道と全国のソーシャルフットボールの交流
- 障害者フットサルに興味のある支援者等の体験の場

場 所

イーワנסタジアム
(札幌市白石区栄通14丁目2-35 東西線南郷13丁目駅徒歩4分)



内 容 (A、B両方への参加可能です。ルールなどの詳細は、ホームページまたは当日発表します)

A：チーム対抗戦(個人参加で希望される方は、主催者にてチーム編成を行います)

※楽しむことを忘れず、本気でプレーしましょう。

B：参加者全員交流戦(主催者でチーム編成をさせていただきます)

※他地域の方との交流、楽しむことが目的の試合です。

参加費 無料 ※スポーツ障害保険等への加入は任意とし、怪我や事故においては、当該チームや個人が負うものとします
※参加にはフットサルシューズ必須。会場にて1足300円にてレンタルも可能。
(靴底の色が紺色のものであれば可能ですが、スニーカーやトレーニングシューズはご利用頂けません。)

参加資格 精神科デイケアや障害者スポーツに興味のある方

申し込み

日本デイケア学会札幌大会ホームページにて詳細ご確認の上お申し込みください。
原則、事前申し込みをお願いしますが、当日の飛び入り参加もお受けいたします。

お問い合わせ TEL：011-233-5255 E-mail：stairways.2012@hotto-station.com
担当：山本(ほっとステーション)

「パレット」を夢や希望を描ける場所に

佐抜 洋平

当院は鹿児島県北部にあり、この圏域では数少ない単科の精神科病院です。デイケア「パレット」は平成12年に開設され現在110名が登録しています。この地域は自然豊かな場所ですが、公共の交通機関が少なく、半数以上のメンバーが送迎を利用されています。

ここ数年、ますます進む高齢化や利用者のニーズも広がり、それに応えるためには丁寧なアセスメントと一人一人に合ったオーダーメイドな支援が求められています。

当デイケアはそのようなニーズ（個人だけでなく地域も含めた）や時代の変化に即しながらも、メンバーの主体性を大切にしたいデイケア作りを目指し、約6年前から様々な取り組みを始めました。

最初にプログラムの再編を行い、サークル活動やピアサポートグループなど、スタッフが提供するものではなく、メンバーが考え作り上げるプログラムを増やしていきました。その中でメンバーそれぞれが役割と責任を持てる運営方法にし、目標も立てやすいよう工夫しました。特にコーラスグループや演劇グループ、地域の魅力発見隊といったグループは継続して活動を行っており、他施設での発表機会を作るなどして、地域と接点を持てるプログラムになっています。

ピアサポートグループはピアスタッフを中心となり、メンバーが自由に発言できる空間作りを心がけています。症状や服薬、主治医とのやりとり、生活の工夫等をテーマにそれぞれの経験を語り、学び合う時間は、メンバーに多くのきっかけや気付きを与える時間となっています。ピアスタッフはリカバリーできた存在としてメンバーに多くの希望を与えてくれますが、デイケアではピアスタッフだけではないメンバー同士のピアサポートが、日々起こっていることにも目を向ける必要があるのではないかと思います。

その他、心理教育やIMR等、エビデンスのあるプログラムも積極的に取り入れました。事前に先進病院の見学や研修会に参加し、スタッフ内でイメージを共有できるようにし、プロ

グラムの概念や価値がぶれないよう振り返りを継続して行いました。

実際にこれらのプログラムを通して、支援者として知らぬ間に背負っていた本人が抱えるべき責任を本人に委ねることができたこと、症状と人とを分けて考えられるようになったこと、生活の工夫の大切さを知れたこと等、メンバーだけでなく私たちスタッフも多くの変化が得られました。またリカバリーは誰にでも可能性があり、リカバリーを感じるプロセスも意味もそれぞれ違うということも実感できました。

最後に私はデイケアに勤めて今年で10年目となります。デイケアの管理者となってから様々な取り組みを進めていく上で思うように進まないことや葛藤もたくさんありました。しかしつもどこかでワクワクするようなアイデアが浮かび、それを共有できる仲間の存在が助けになりました。そして全国には希望を感じる人や場所、先進的な素晴らしい取り組みがたくさんあることを知り、そのような場所に出向き、人と出会い交流することで絡んだ糸がほどけていくような体験もできました。経験を積んできたからこそ、日々の言動や考え方を振り返り、自己チェックすることが大切だということも学びました。

これからもデイケアパレットが、誰にとってもオープンで、そして夢や希望が見える、話せる場所であれたらいいなと思っています。また更なる発展として、デイケアの持っている力や培ったものを社会に役立てられたら素晴らしいなと思っています。

足早に書いてしまいましたが、このような機会を頂き、また読んで頂きありがとうございます。

～デイケア パレットとは～

「デイケアに来るメンバーやスタッフはそれぞれ違った個性や特技を持っています。十人十色といいますが、パレットというステージで皆さんの色が混ざり合ったり、主張し合ったりして、素晴らしい絵（夢や希望）を描いていけたらいいなという思いが込められています。」（医療法人慈和会大口病院デイケアパレット 精神保健福祉士）

日本デイケア学会入会申込みについて

日本デイケア学会は、デイケアの発展と向上を意図し、学術研究の促進と会員相互の交流の推進を目的に、平成8年に研究会として設立され、その後平成10年に学会に名称変更され、現在約1,000名の会員がおり、精神科デイケア、高齢者デイケア・デイサービスの分野で業務に従事している方が大部分を占めております。

1. 入会申込書 下記入会申込書にご記入の上、FAX か郵送で下記事務局までお送りください。

2. 入会金および年会費

正会員：入会金 1,000円 + 年会費 8,000円

団体会員：3名までは、入会金 5,000円 + 年会費 20,000円(登録者名の変更は適宜可能)

(3名を越えるときは、1名につき年会費 5,000円を加算してください)

振込先：郵便振替 名称：日本デイケア学会 口座番号：00170-8-167337

3. 資格(会則の一部を引用します)

正会員は、医療、保健、福祉、教育等の分野において、デイケアおよび関連業務に従事または従事しようとする個人で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとする。

団体会員は、デイケア業務をおこなう団体、施設、法人等で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとし、一定数のデイケア従事者を登録することができる。

4. 事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-13 広和レジデンス2F (有)エム・シー・ミュージズ内

日本デイケア学会事務局

TEL & FAX : 03-3813-6368

E-mail : info@daycare.gr.jp URL : http://www.daycare.gr.jp

----- キリトリ線 (ご記入いただき、郵送あるいは FAX で事務局までお送り下さい。) -----

入会申込書

(正会員用)

申込日 平成 年 月 日

氏名			性別	男・女	生年月日	T・S H	年	月	日

職種		所属先名称 (勤務先)	
----	--	----------------	--

所属先所在地	〒	電話番号	()
--------	---	------	-----

(団体会員用)

団体名		代表者	
-----	--	-----	--

所在地	〒		
-----	---	--	--

種別		TEL	()	FAX	()
----	--	-----	-----	-----	-----

会員登録(計 名) ※会員登録される方を下記に記して下さい。

氏名	フリガナ	氏名	フリガナ
氏名	フリガナ	氏名	フリガナ